



だより



R7.1.21 Vol.35

### 雪

先週、八幡浜でも雪がうっすら積りましたね。

さて雪を英語で言えば snow ですが、日本語には粉雪、牡丹雪、綿雪、細雪、堅雪、水雪等々、雪一つとっても様々な表現がありますね。これって四季の変化が豊かな場所で暮らしている日本人の鋭く優れた観察力の賜物じゃないかなあと思っています。先日の雪の日、大島沖の雲が海に垂れているように見えました。「あれって雪なんだよ。」という、「へえ。」としばらくその雲を見つめている子供がいました。

「豊かな感性を育てる」そんな言葉が教育界の中でよく見聞されます。特別なことをするのではなく、身の回りの自然に身を委ねてみる。注意深く観察してみる。そんな日々の積み重ねも感性の育成につながる気がします。



### 学習発表会にむけて

今週末の学習発表会に向けて、各学年、趣向を凝らした出し物の練習に勤しんでいます。劇をする学年が多いみたいです。劇と言うとそれっぽくセリフをいうことに意識がいきがちですが、そうではないのだとか。指導をいただいたことのある演出家の先生の話では、「どんな気持ちが湧いているのか？どんな育ち方をして、これまでどんな経験をしてきた人なのか？それをしっかり想像するのが大切なんです。」そんなことを言っていました。もちろん子供にそこまでは要求しませんが、これって相手の気持ちを考えることと深く関係していると思います。演劇脚本が教材になっている教科書もあります。せっかくの機会です。発表会を通して、相手の気持ちを考えること！学んでほしいと思います。



### 四方山話真穴 ver. 其の三十五(ビーリアル)

女子大生との新年会。話の中で「おじいちゃん！（孫ができたと話した途端！これです。笑）今、若者にバズってるアプリ知ってる？」「おじいちゃん言うな！知らん！」「ビーリアルって言ってね…。」と説明してくれました。私もよくわかっていないのですが、掻い摘んで説明すると、「1日1回、日本全国みんなに同じタイミングで通知が来る！それが来たら、2分以内に写真をとり、アプリ内にアップしたら、次の日の通知がくるまで、6枚のアップができる。2分をオーバーすると2枚しかアップができない。アップしなかったら他の人の投稿は見られない。」そんなルールだそうです。「そんなめんどくさそうなのだれがするの？」「いや、普通にみんなしよるよ！なあ？」「それで！普通に！おじいちゃん！」「おじいちゃん言うな！！」まあ、学生の間だけなんだろうなあとは思いつつ…。ケチをつけるつもりも全然ないのですが、これも時代なんでしょうか。

時代と言えば、先日、別の世代の教え子たちとも会う機会がありました。こちらはいわゆるアラフォー世代。小さい子から高校生くらいまでの子育てで真っ盛りの世代です。話をしていると「先生！子供につかまってしまうんやけど…。」「さすがにかまい過ぎじゃない？」「そうよなあ。先生の言うこと分かるんやけど…。でも、もうそんな時代で！」…それぞれの事情があり、考え方もあるので、どうしろ！なんてことは言えません。確かに、日進月歩の勢いで時代は急速に変化しています。ただその時代に流され過ぎて、本質を見失っていないでしょうか。情報機器は生活をアシストするものですし、子育てとは子供を一人立ちさせることです。いつまでも可愛い我が子だからこそ、あえて離れることも親の務めだと感じます。（もちろん人それぞれです。教え子との会話が改めて情報機器や子育てを考えるきっかけになりました。）

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思ひます。